

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人和光会  
施設名 グループホーム ファミリーケア北方  
施設の種別 認知症対応型共同生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
4 移動支援機器(屋外型)	RT.ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカーRT.2
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 R4 年 10 月 13 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
ロボットアシストウォーカーRT.2の性能が活かされる利用者(歩行器があれば見守りのみで歩行可能な方)を対象に、週に3日程度、事業所内と事業所外の近辺の散歩時に使用している。利用者のみで理解してボタン操作を行うのは困難であり、職員が電源を入れて、使用中は付き添い、見守りを行っている。合計で5名の利用者の使用実績がある。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
歩行時のリスク軽減、安全面の強化により、使用中の利用者に関して、歩行時の転倒事故の防止につながり事業所全体における転倒事故減少につながった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
利用者がボタン操作を理解することは困難であると判断し、使用中は必ず付き添い、関わりをもつ必要性があったことから、介護時間の短縮にはつながっていないが、手引き歩行をしていた利用者に対する直接介助負担軽減と、リスクに対する職員の精神的な負担軽減につながっていることで職員の満足度も高く、有効性を感じている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
操作部の操作方法の理解、設定に関しては使用者本人では難しい為、電源ボタンを押すといった操作は職員で行った。電源を入れた状態で使用していないと、しばらくして電源が切れる仕様である為、使用の都度職員の介入が必要になった。  
※歩行器があることで概ね自立して歩行できる利用者があるが、電源のON、OFFの理解は困難な方が多い為